

「雑草」がエリートに挑む夢を、ドラマの世界で終わらせない。  
出演馬2頭を競走馬デビューへ、日高の牧場が1,000万円を目標に支援募集

有限会社フジモトバイアリースタッド(所在地:北海道日高郡、代表:藤本直弘)は、TBS系ドラマ『ザ・ロイヤルファミリー』にて主要な役を演じた2頭の馬(劇中名:ロイヤルイザーニャ、ロイヤルファイト)を競走馬としてデビューさせるため、クラウドファンディングサービス「READYFOR」にて1,000万円を目標に、2026年4月9日(木)より支援を募ります。

(プロジェクトURL: <https://readyfor.jp/projects/fujimoto-byerley-stud>)



北海道日高で四代にわたり馬と向き合ってきた当牧場は、家族経営の小さな生産牧場です。「エリート血統でなくとも、一頭一頭の個性を磨けば輝ける場所がある」という信念のもと、丁寧な育成を続けてきました。

2025年に放送されたドラマ『ザ・ロイヤルファミリー』のロケ地に選ばれ、当牧場の2頭が「役者馬」として抜擢されました。撮影現場では、物怖じしない性格や高い順応性が評価され、俳優・制作関係者からも高い評価を受けました。ドラマ放送後は、競馬に馴染みのなかった層からも関心が寄せられるなど、従来とは異なる広がりを見せています。

ドラマに出演した2頭はもともと売却先が決まっており、新しい環境へ送り出す準備も整っていました。しかし、買い手側の事業状況の変化により、直前で契約が見送られることとなりました。競走馬は、2歳というデビュー目前の時期に新たな買い手を見つけることは非常に困難です。画面の中で懸命に生きる姿を見せた2頭の可能性を、経済的理由で閉ざしたくない。その一心で、代表の藤本直弘自ら馬主として責任を持ち、競馬場へ送り出す決断をいたしました。

今回の挑戦は、そうした可能性を持つ馬が「機会を得られないまま終わる」ことを防ぐための一歩です。日高の馬、いわば「雑草」と呼ばれる存在でも、エリートと呼ばれる馬たちに挑み、勝負できることを、この2頭とともに証明していきたいと考えています。

## ■クラウドファンディングプロジェクト概要

- ・タイトル: 日高の「雑草」がエリートに挑む。ドラマ出演馬2頭を本物の競走馬へ
- ・URL: <https://readyfor.jp/projects/fujimoto-byerley-stud>
- ・目標金額: 1,000万円
- ・募集期間: 2026年4月9日(木)10時から7月8日(水)23時(90日間)
- ・資金使途: 2歳~3歳のデビューから1年間の活動費用の一部・デビューに向けたトレーニング費用(1年)・調教師への委託費用(1年)・競走馬の移動に伴う輸送費(1年)など
- ・形式: All in形式

※目標金額の達成の有無に関わらず、集まった支援金を受け取ることができる形式です。

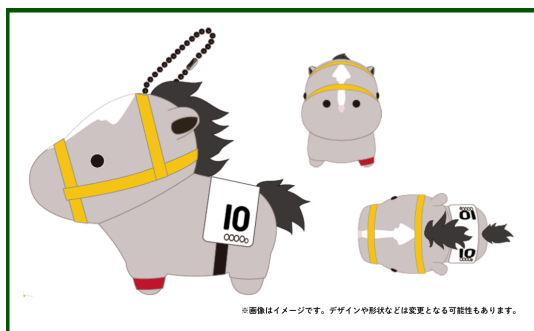
## ■リターン概要

2頭をモチーフにしたグッズをご用意。その他、体験型リターンなど、幅広いコースで支援者の皆さまに楽しんでいただける内容です。

### <リターン一部>



【クラウドファンディング限定】オリジナルめじるしチャーム  
2頭のイラストをプリントしたチャームです。シリコンリングが付いているので、傘の取っ手やカバン、ペットボトルなどに付けると目印にもなります。



【クラウドファンディング限定】ゼッケン付きマスコット  
ロイヤルイザーニャ役の馬のゼッケン付きマスコットです。



【クラウドファンディング限定】ホースヘアタッセル  
ロイヤルイザーニャ役の馬の「たてがみ」や「尾毛」を丁寧に使用して作り上げた、世界に一つだけのホースヘアタッセルです。古来より、馬の毛は身を守るお守りや、幸運を呼び寄せるアイテムとして大切にされてきました。バッグや鍵につけて、いつでもどこでも一緒に過ごせる特別なグッズです。

※ゼッケンの「〇〇〇〇」の部分には『命名アンバサダー』キャンペーンにて決定した正式な「競走馬名」が入ります

■有限会社フジモトバイアリースタッドについて  
有限会社フジモトバイアリースタッドは、北海道日高町に拠点を置く競走馬生産牧場です。四代にわたり家族経営で馬づくりに取り組み、血統や規模だけに依存せず、一頭一頭の個性と向き合う育成を強みとしています。

これまでに重賞戦線での活躍馬を送り出した実績を持ち、現在は規模を抑えながらも、より丁寧な育成体制のもとで馬の可能性を最大限に引き出す取り組みを続けています。

